

ファインステージ・点検口 取付説明書

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

施工時の注意事項 施工にあたっては次の点をご注意ください。

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますので使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置決めてください。また、寒冷地はその地域にあった基礎工事を行ってください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示す。

！ 使用上のご注意について

- 樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール（水でうすめたもの）には優れた抵抗性をもっていますが、濃酸、濃アルカリ、また、シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は使用しないでください。

- デッキの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。
- 樹脂は、微小火源には着火しにくくなっていますが、火気には十分にご注意ください。また、70℃以上になると変形しますので、近くで焚き火をしたり高温のものを近づけたりしないでください。

樹脂製品のお手入れ方法について

- 洗浄方法：中性洗剤を所定の割合で水で希釈し、布巾などで部材の長手方向に擦るように拭き、最後に水で洗剤をきれいに洗い流してください。
※月に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
- 汚れキズ等の補修：まず、表面の汚れを雑巾などで拭き取ってください。その後、汚れキズ部分をサンドペーパー（#40～60）を長手方向に擦り、汚れキズを取り除いてください。最後に表面の削り粉を清掃してください。

！ ファインステージの「3. デッキ材の取付け」と同時に点検口を施工してください。



ファインステージの取付説明書 [ME-1778] を合わせて参照してください。

もくじ

梱包明細	2	2. 点検口部デッキ材の取付け	4
納まり図	2	3. 点検口蓋の組立て	5
施工前の確認	2	4. 点検口蓋の取付け	7
1. デッキ材の切断	3	施工工事店様、販売店様へのお願い	8
1-1 デッキ材の切断	3		
1-2 小口キャップの取付け（※オプション）	3		

梱包明細

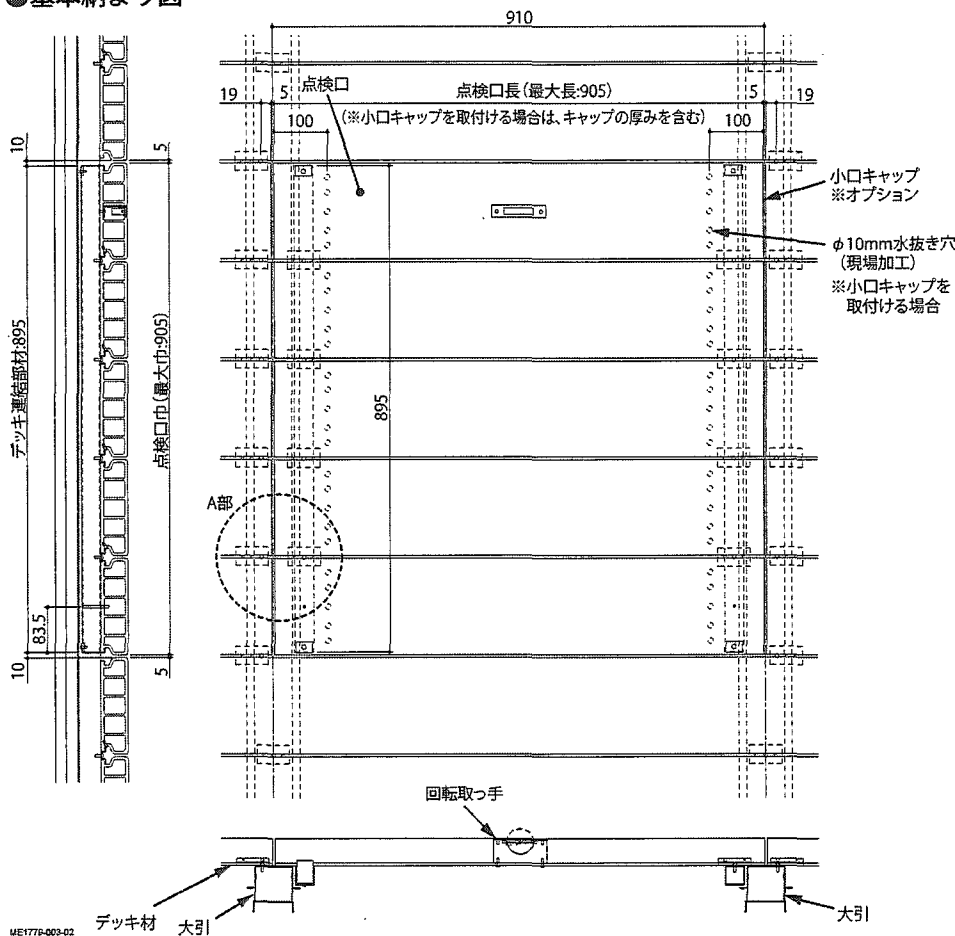
- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いが確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包名称	梱包内容		表内の（ ）は個数を表しています。
点検口	取っ手取付デッキ材 [L=907] (1)・デッキ連結部材 [L=895] (2)		
	点検口連結材部品セット	デッキ材取付金具（点検口用）(4)・φ4×10トラスタッピン3種 (4) デッキ材取付金具 (8)・φ4×13セルフドリリングビス (8) 取付説明書 [ME-1779] (1)	
小口キャップ（オプション）	小口キャップ (10)・φ4×14皿タッピン1種 (20)		

納まり図

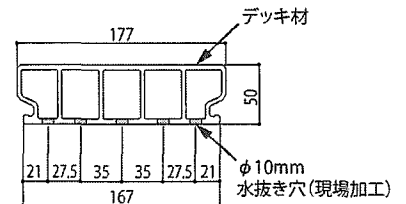
- オプションの小口キャップを取付ける場合は、水抜き穴（φ10mm）を現場加工してください。
- 点検口の両隣に納めるデッキ本体側にオプションの小口キャップを取付ける場合も、同様に水抜き穴を現場加工してください。

●基本納まり図



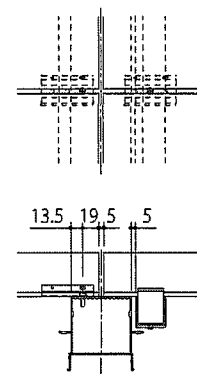
●水抜き穴寸法図

※オプションの小口キャップを取付ける場合



ME1778-024-01

●A部詳細図



ME1778-020-02

施工前の確認

●施工前に確認してください



- 点検口は大引-大引間に設置してください。
- 点検口の両隣に納める本体側デッキ材の固定には、必ず2本の大引が必要になります。設置箇所によっては、大引を追加してください。
- デッキ端部の大引には設置できません。
- 点検口を設置する箇所のデッキ材の切断が必要になります。
- 設置箇所、オプションの小口キャップの有無により切断寸法が変わります。
- 回転取っ手を取付けたデッキ材は大引最大ピッチに合わせて切断されています。このほかの点検口用デッキ材は、デッキ本体のデッキ材をご使用ください。

1

デッキ材の切断

● < > 内寸法は、小口キャップ (オプション) を取付ける場合を示しています。

1-1 デッキ材の切断

① 「点検口部イメージ図」および「納まり図」を参照し、点検口の位置に合わせてデッキ材を切断してください。

● 点検口部イメージ図

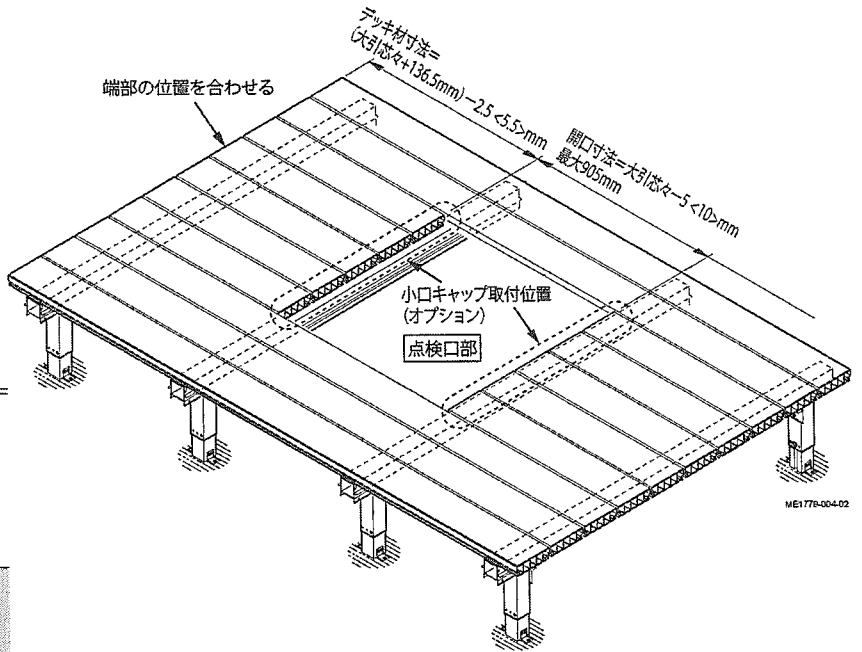
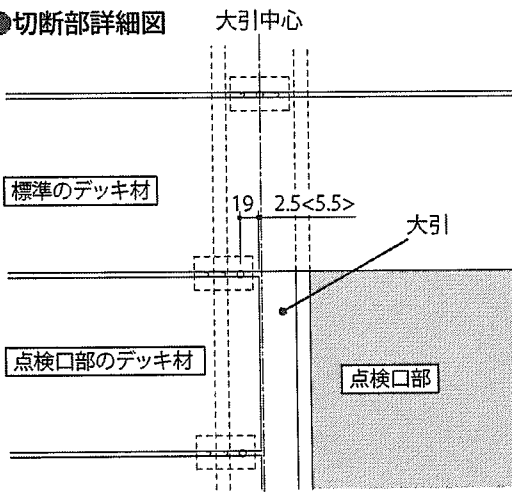


切断後のデッキ材を点検口蓋用に使います。



小口キャップ (オプション) を取付ける場合は、小口キャップの厚み (3mm) 分を加えて切断してください。

● 切断部詳細図



ME1778-004-02

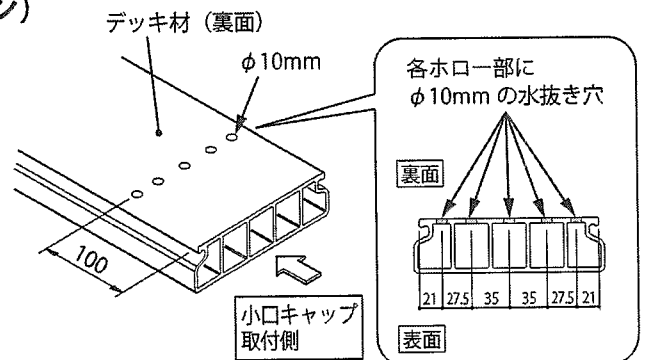
ME1778-005-02

1-2 小口キャップの取付け (※オプション)



小口キャップを取付ける場合は、必ず水抜き穴をあけてください。
※水抜き穴をあけないとデッキ材の凍結破損等の原因になります。

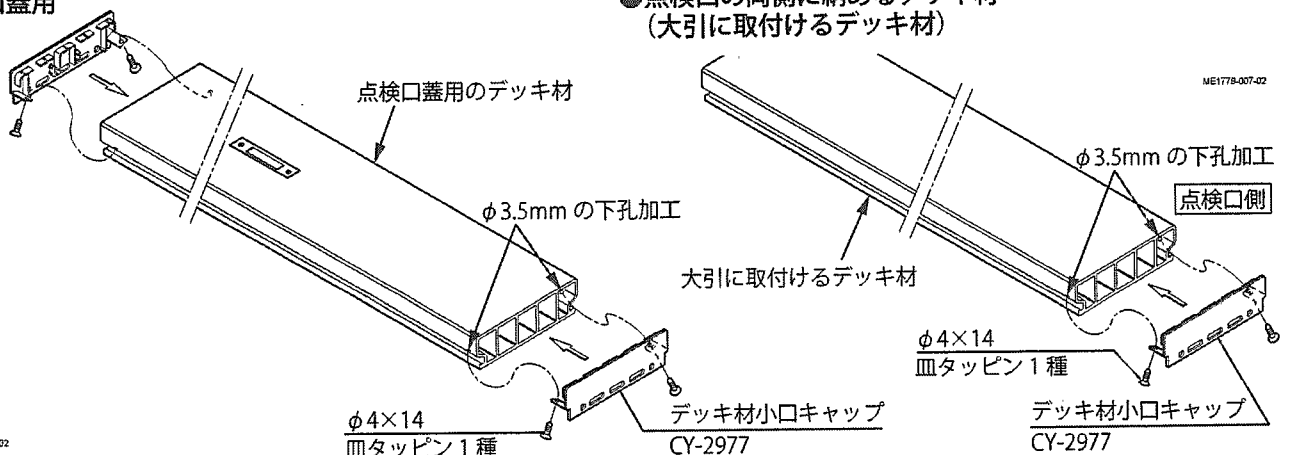
- ① 納まり図で寸法を確認し、デッキ材裏面に $\phi 10\text{mm}$ の水抜き穴をあけてください。
- ② 点検口蓋用のデッキ材には両側に、点検口の両側に納めるデッキ材には片側 (点検口側) に、小口キャップを取付けてください。



ME1778-025-01

● 点検口蓋用

● 点検口の両側に納めるデッキ材 (大引に取付けるデッキ材)



ME1778-007-02

ME1778-006-02

2

点検口部デッキ材の取付け

●ファインステージ本体の取付説明書 [ME-1778] を合わせて参照してください。



あらかじめ標準のデッキ材を、点検口部の手前まで取付けておいてください。
 ・参照説明書
 ファインステージ [ME-1778]
 「3. デッキ材の取付け」

- ①大引中心から 22mm 外側に、 $\phi 3.5\text{mm}$ の下孔をあけてください。
- ②デッキ材固定金具の固定側で、本体のデッキ材のツメを固定し、ビスで大引に取付けてください。

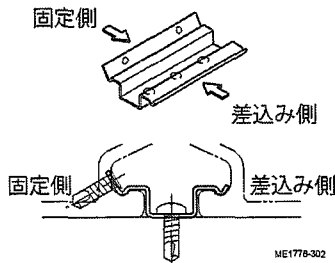


取付前にデッキ材の表・裏を確認してください。



- デッキ材取付金具の向きを間違えないようにしてください。
- 点検口側の孔を使用して大引に取付けてください。

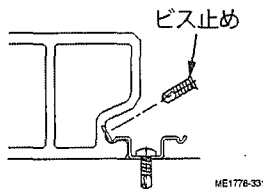
●デッキ材取付金具



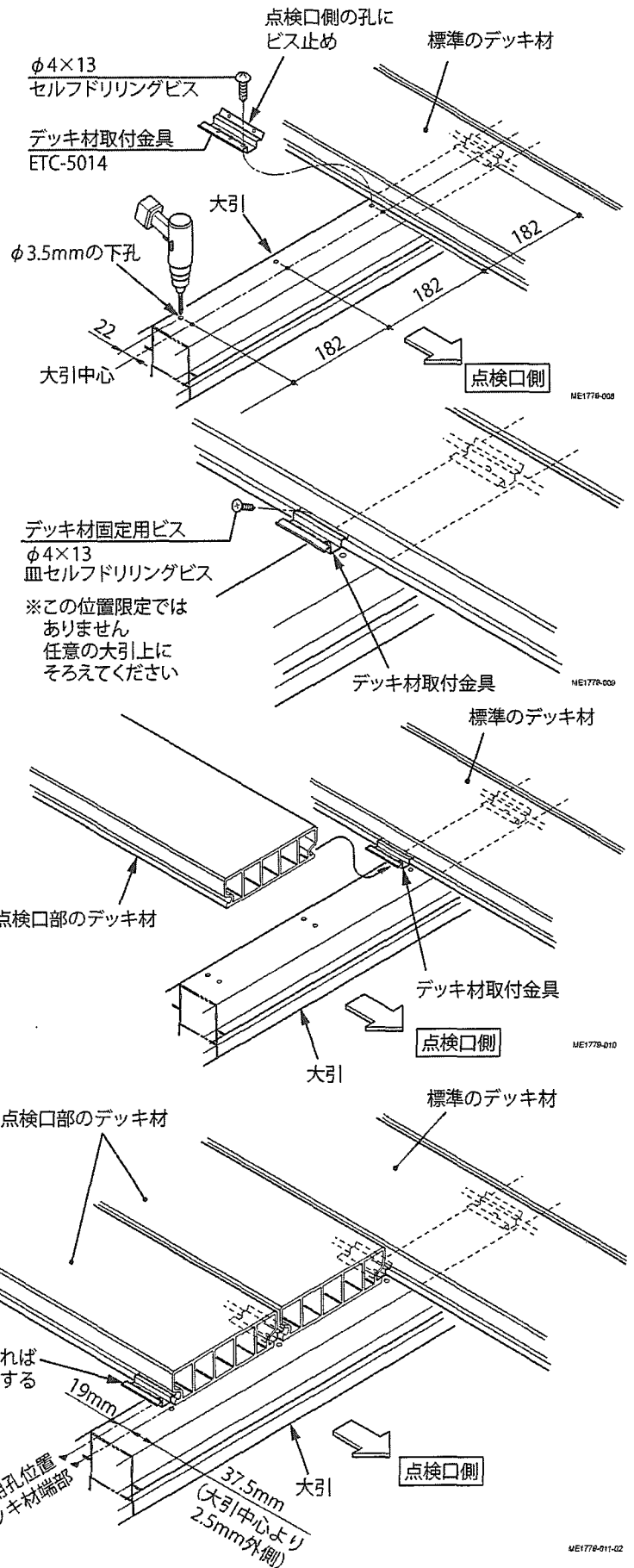
- ③デッキ材取付金具とデッキ材を皿ビスで固定してください。



- デッキ材 1 枚につき、1ヶ所をビス止めしてください。
 ※ビス止め位置を同じ大引上にそろえてください。
 ※大引位置に指定はありません。任意の大引上にそろえてください。



- ④デッキ材取付金具の差込み側にデッキ材のツメを差込んでください。
- ⑤「②～④」の手順を繰り返し、点検口部デッキ材を全て取付けてください。
- ⑥点検口部のデッキ材の取付後、[ME-1778] を参照して、標準のデッキ材を最後まで取付けてください。



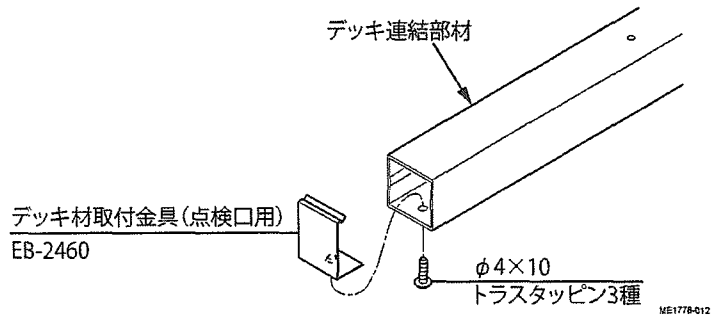
3

点検口蓋の組立て

①デッキ材取付金具（点検口用）をデッキ連結部材の片側の端部に仮止めしてください。



もう一方の端部には、後工程でとりつけます。

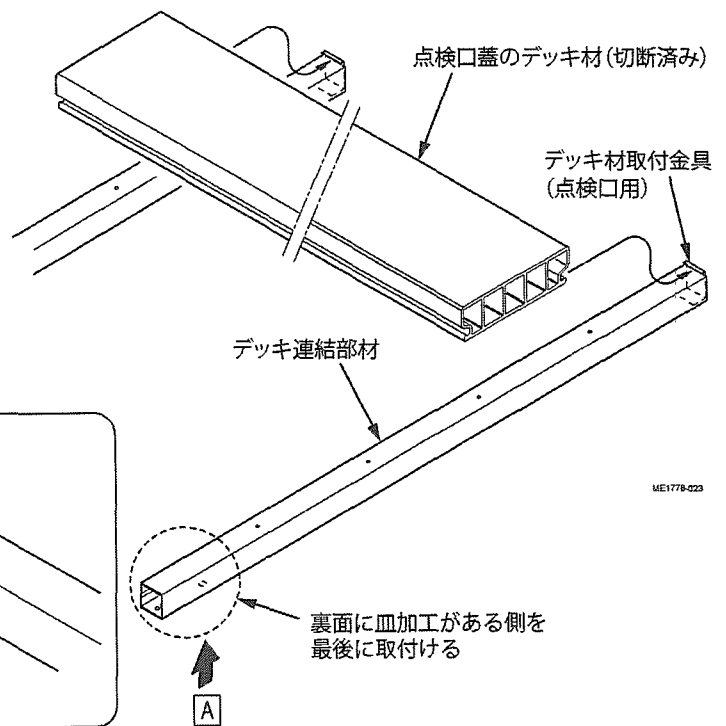


②デッキ材取付金具（点検口用）に、点検口蓋用のデッキ材のツメを差込み、ビスを締込んでください。

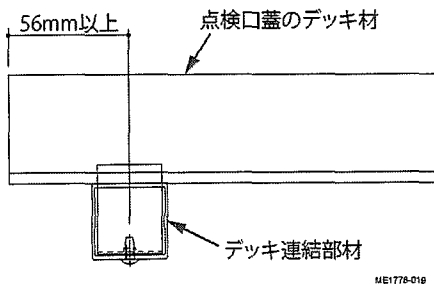


デッキ材端部から 56mm 以上の位置にデッキ連結材を取付けてください。

※ 56mm 以下であると、点検口が取付けられなくなります。



●取付寸法図

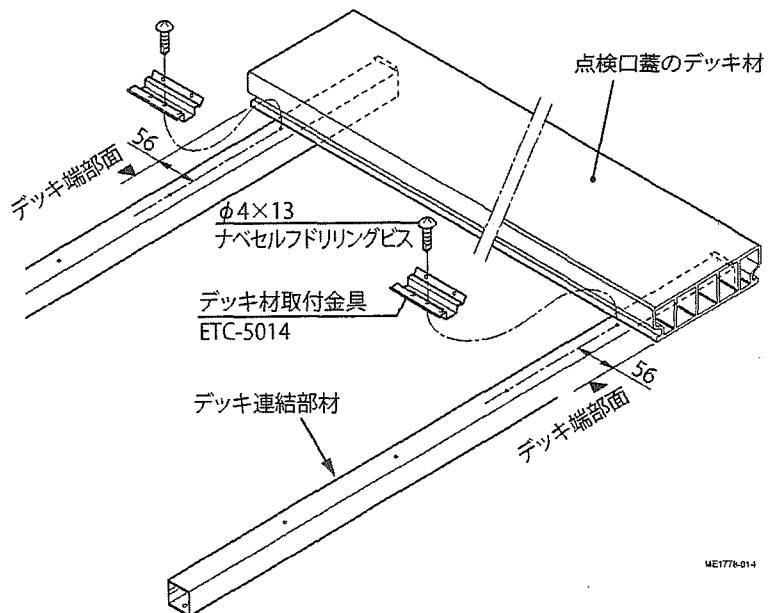
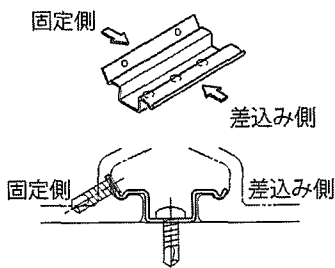


③デッキ材固定金具の固定側で、デッキ材のツメを固定し、ビスでデッキ連結部材に取付けてください。



デッキ材取付金具の向きを間違えないようにしてください。

●デッキ材取付金具

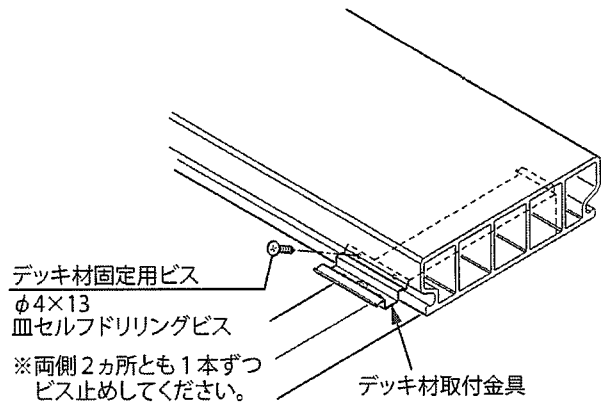
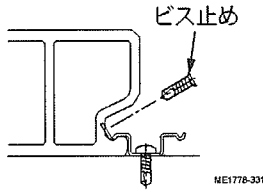


点検口蓋の組立て

- ④デッキ材取付金具とデッキ材を、皿ビスで固定してください。



デッキ連結部材とデッキ材を、
両側2カ所とも1本ずつビス止めしてください。



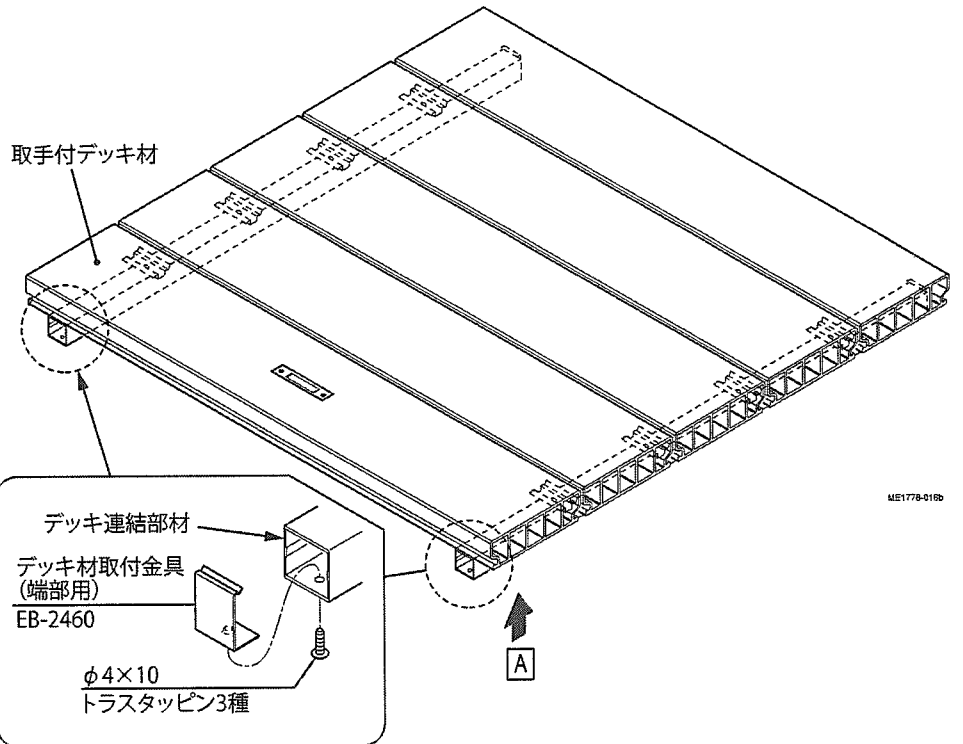
- ⑤デッキ材取付金具の差込み側にデッキ材のツメを差込んでください。

- ⑥「③～⑤」の手順を繰り返し、点検口部デッキ材を全て取付けてください。



片側の端部1枚には、
取手付デッキ材を取付けてください。

取手付デッキ材

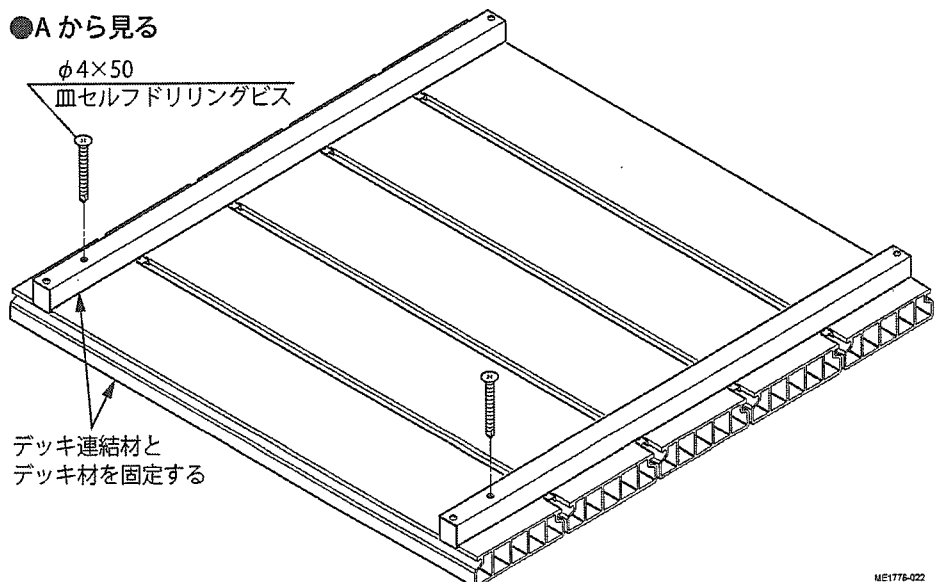


- ⑦デッキ材のツメにデッキ材取付金具(端部用)を引っ掛けて、デッキ連結部材に取付けてください。

- ⑧デッキ連結材とデッキ材を、裏面からビスで固定してください。

●Aから見る

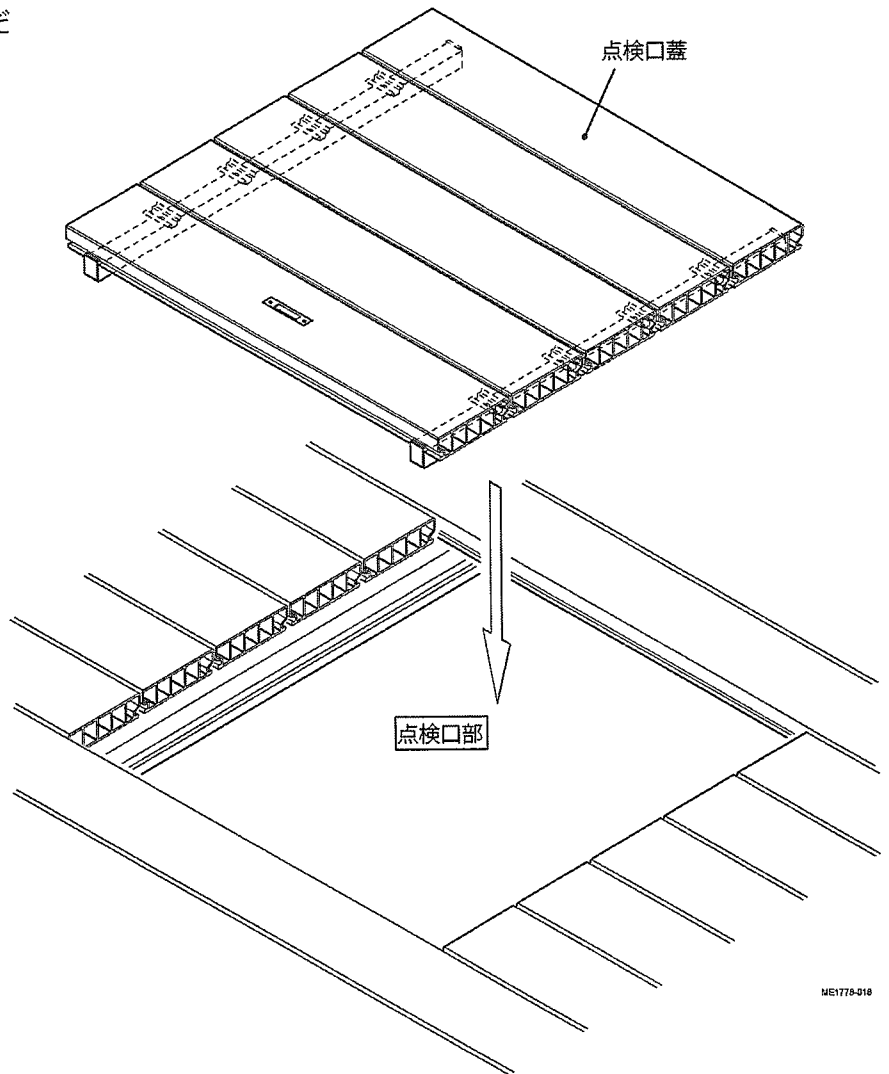
φ4×50
皿セルフドリリングビス



4

点検口蓋の取付け

①点検口部に、点検口蓋をはめ込んでください。



ME1778-018

施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施 工 完 了 日	年 月 日
施 工 工 事 店	TEL () -
販 売 店	TEL () -
商 品 名	
そ の 他	